

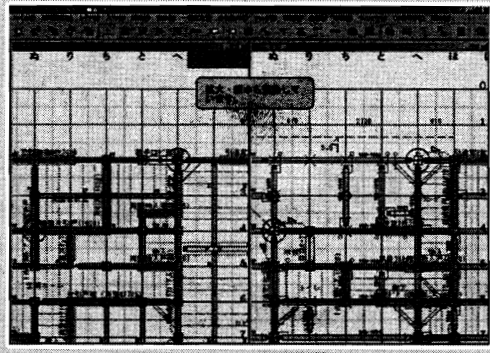
# 神戸に新工場を 来春開設

東建  
建六  
リーバ

## アパー躯体フレーム増産 木製建材の生産も視野に

東建コーポレーション(名古屋市中区、左右田稔社長)は、建材子会社の東建リーバ(同)が船用機械製造の神戸発動機(兵庫県神戸市、矢野繁社長)の神戸工場を取得し、高耐震アパート向け躯体フレームの増産を図ることを明らかにした。取得費用は1億3500万円、操業開始は5月以降を予定。将来的には木質建材等の生産ラインの設置も計画している。

東建リーバでは、東建コ(県深谷市)で製造しているから、西日本地区を対象として、高耐震ア(しかし東日本地区で同)する製造・供給拠点の構築



# CADの操作性、一段と向上

ネットイーグル

## プレカット 中核システムを刷新

CAD開発のネットイーグル(福岡市、祖父江久好社長)は、プレカットCADの中核システムを刷新した。加工の多様化、CADの複数化に伴って入力作業が煩雑化してきたことに対応。個別の制御を一元化することで、一体的に作業できるようにした。機械の発達で加工技術が標準化されたプレカット業界では、CADオペレーションの優劣が競争力の分かれ目になりつつある。ネットイーグルは新システムの機動力を売り物に、既存システムの入れ替えと新規顧客の開拓を図る。

新システム 動するネットワーク性能がは「XSTA R(エクスタール)」。同社の会員組織、スピリットクラブの次期バージョンアップに合せて発売する。同社のCADは意匠から構造、積算、生産、物流に至るまでデータが相互に連動する。例えば、構造から羽柄へと作業を移行する際、プログラムをボタン一つで瞬時に切り替わるようにしたほか、土台伏図と2階床伏図、または2階床伏図と2階小屋伏図など対になる2画面を同時に表示し、一度に双方を入力できる「2画面入力機能」を搭載(写真)。

そのほか、入力を間違えた際、前の操作に戻したり、次の操作をやり直したりするアンドウ/リドゥ機能、伏図や積算書、明細書など全ての帳票の印刷状態を確認できる印刷プレビュー機能、DXF仕様による

図面枠、凡例などの選択、表記機能、マウスホイールによる画面のズームアップ/ズームダウン機能なども新たに加えた。

装置産業化されたプレカット業界では規模の拡大による体力勝負が激化し、CADオペレーターの人手不足が深刻化している。しかし、受注生産だけに繁閑差が大きく、安易に雇用を増やせないジレンマがある。

エクスタールは外部とのデータ交換も容易で、工場同士で余剰能力を融通し合うのにも最適。ネットイーグルは「規模論理」に代わる新たな競争力として、新システムによる機動力の向上を提案する。

## 住林安宅を子会社化 株式の過半を取得

住友林業(東京都、矢野隼社長)は26日、大手町建物(同、内田賢介社長)など4社から安宅建材(同、吉竹勝利社長の株式56・35%分を取得、子会社化した。吉竹社長は退任

## 合板業界

東北合工組に丸玉産

し、8月1日で住友林業から安宅建材顧問に転向している井上守氏が社長に就任

丸玉産業(北海道網走郡、大越修治社長)は、10月1日付で東北合板工業組(井上篤博理事長)に新規加入する。

今後、工場は改装して鉄骨フレームなどの製造ラインを新たに整備する。また将来的には木製関係(建材製造、住設組み立て)のライン併設を視野に入れており、総合的な供給拠点として確立させていく考え。

同組合では、国産材も必要の柱である厚物構造用合板「ネタノン」について、

また、同組合が加盟する日本合板工業組合連合会では、今年4月に林ベニヤ産業、昨年7月には住友林業クレストがそれぞれ西日本